



2022年8月15日

各 位

会 社 名 アステリア株式会社
代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎
(コード番号:3853 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久
(TEL 03-5718-1655)

(訂正) 「2023年3月期 第1四半期決算説明資料」の一部訂正について

2022年8月12日に発表いたしました「2023年3月期 第1四半期決算説明資料」について、記載内容の一部誤りがありましたので、下記の通りお知らせいたします。表中の訂正箇所には下線を付しております。当社 IR サイトに掲載している当該説明資料の内容はこの訂正を反映済みです。

なお、決算短信ならびに連結業績予想の数値に訂正はございません。

記

該当部分	該当項目	訂正前	訂正後
P.16：2023/3 第1四半期	その他	<u>19</u>	<u>190</u>
	広宣販促費	<u>11</u>	<u>118</u>
P.19：税引前利益～四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)	四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)	<u>235</u>	<u>231</u>
	非支配持分	—	<u>4</u>
P.21：財政状態計算書表の増減	営業債権	<u>62</u>	<u>▲62</u>
	その他流動資産	<u>155</u>	30
	有形固定資産	<u>322</u>	<u>303</u>
	のれん	<u>▲565</u>	<u>13</u>
	無形資産	<u>25</u>	<u>15</u>
	投資等その他	<u>2,384</u>	<u>1,106</u>

以 上

2023年3月期
第1四半期決算説明会

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2022年8月12日



Gorilla社 NASDAQに上場！(2022.7.14)



✓ 「GRRR」
の株価は
堅調に推移



上場後の評価益はQ2以降に計上

中期経営計画

Sustainable

持続的貢献に伴う持続的成長

Refine

さらに磨きをかける



Top-line

価値創造に伴う売上成長

Acquisition

企業/技術買収でスピードを獲得

中期経営計画

2022年3月期
実績

29.7億円

売上収益

2024年3月期
計画

45億円

6.2億円

調整後EBITDA

10億円

※調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費
±のれん減損、未実現買収対価、未実現評価損益等

FY2021
仕込み

FY2022
仕切り

FY2023
仕上げ

※IFRSは四捨五入表記

アステリアの主力事業

企業向けソフトウェア開発・販売
受託開発を一切行わず製品開発のみ
コア拠点：日本（東京）

ソフトウェア事業

デザイン事業

2017年のThis Place買収で
開始したデザイン戦略コンサル
コア拠点：英国（ロンドン）

2つの事業は
ソフトウェア事業の
成長を支える事業

企業投資事業

2019年に本体から独立させ
開始した「4D」企業投資
コア拠点：米国（プレイノ）

各事業の責任者

ソフトウェア事業



常務執行役員
熊谷 晋 (KUMAGAI, Susumu)

デザイン事業



This Place CEO (当社執行役員)
Dusan Hamlin

企業投資事業



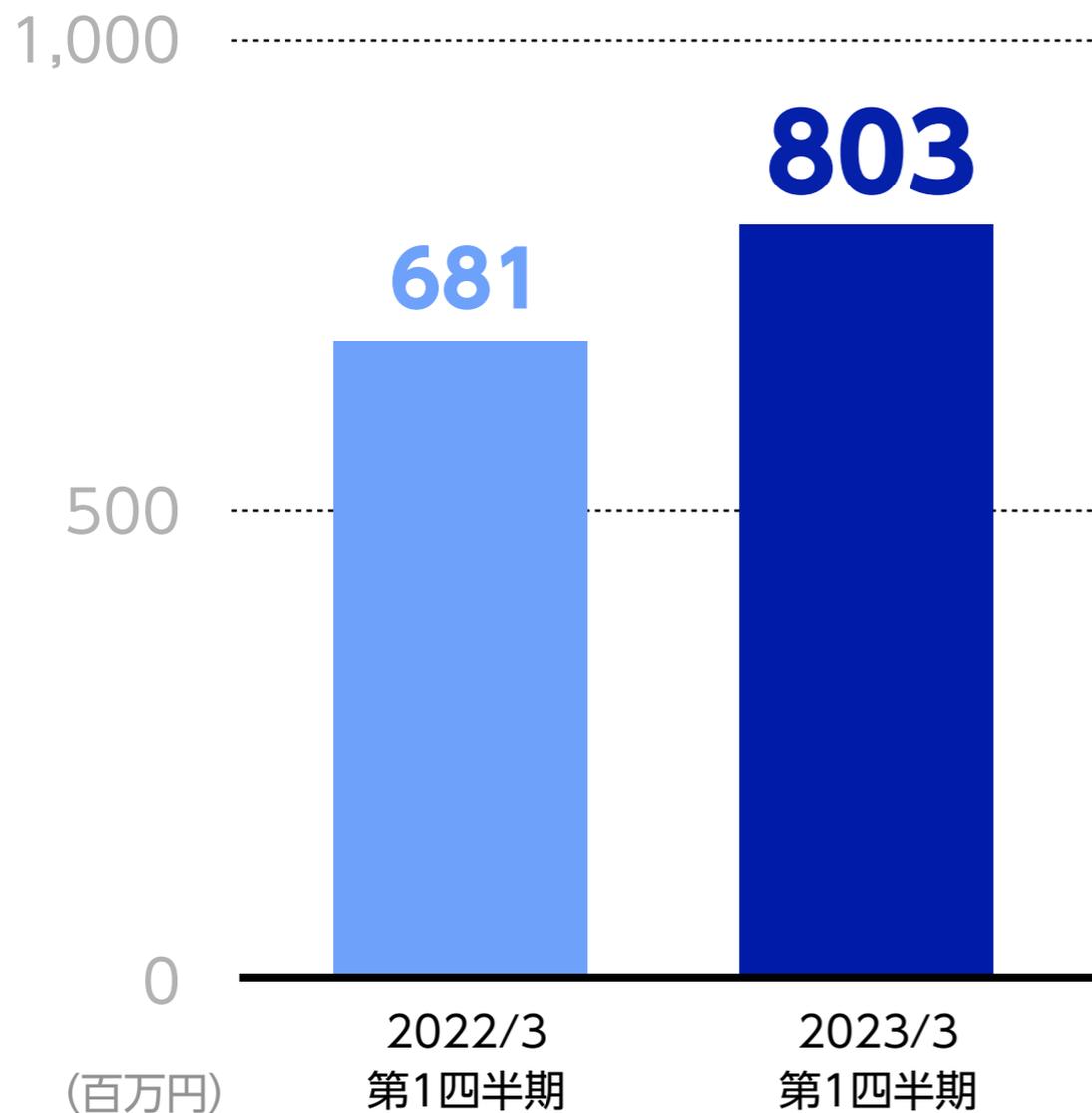
Asteria Vision Fund 代表
吉田 晋司 (YOSHIDA, Shinji)

決算概要

2023年3月期 第1四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

売上：増加 ソフトウェア事業が好調&デザイン事業増収
 利益：増減 中期経営計画に沿った先行投資／為替の影響

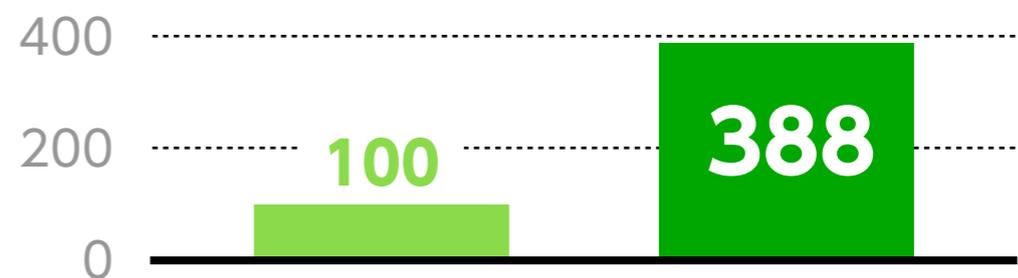
売上収益 (17.9%増) ※前年同期比



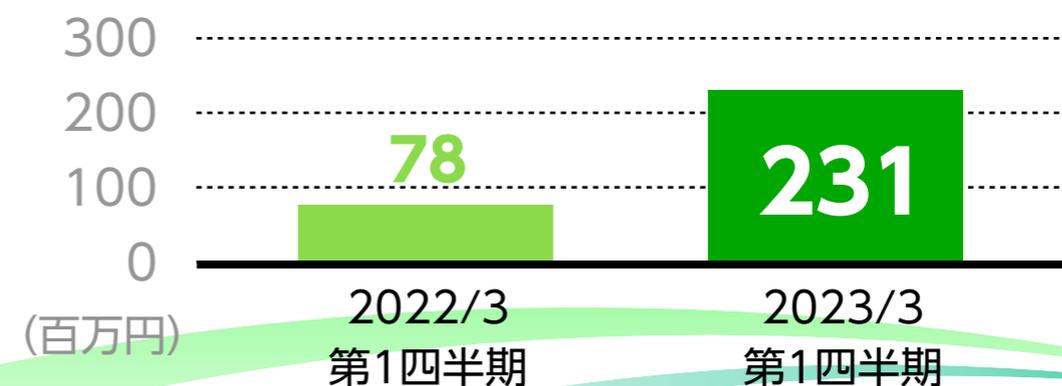
営業利益 (14.7%減) ※前年同期比



税引前利益 (287.9%増) ※前年同期比

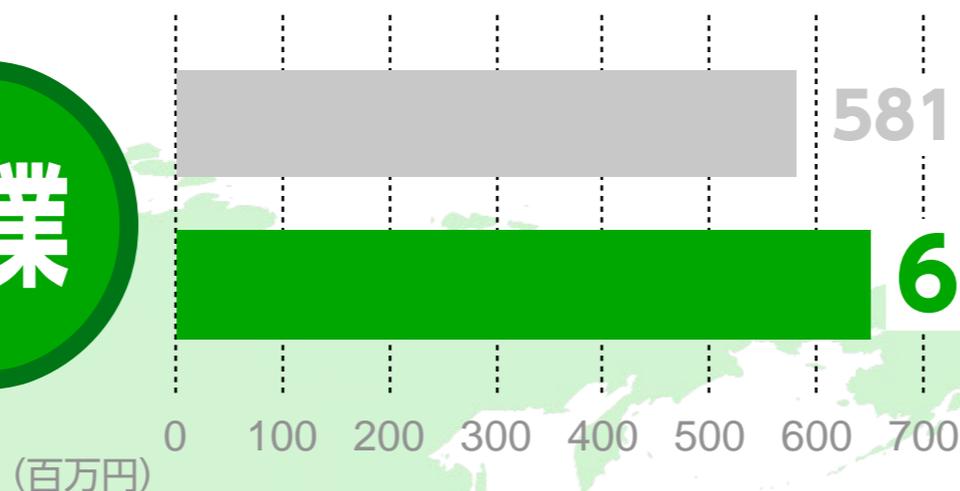


親会社の株主に帰属する
四半期利益 (196.8%増) ※前年同期比



各事業の通期業績

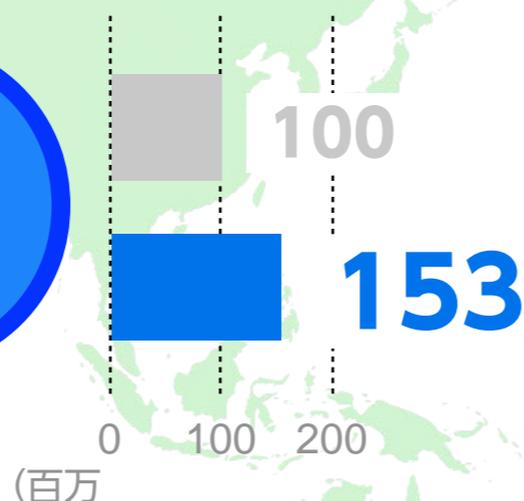
ソフトウェア事業



前年同期比
+11.9%

要因：幅広い業界のDXニーズで
各製品引き合いが好調

デザイン事業



前年同期比
+53.0%

要因：米国の新規顧客中心に増収

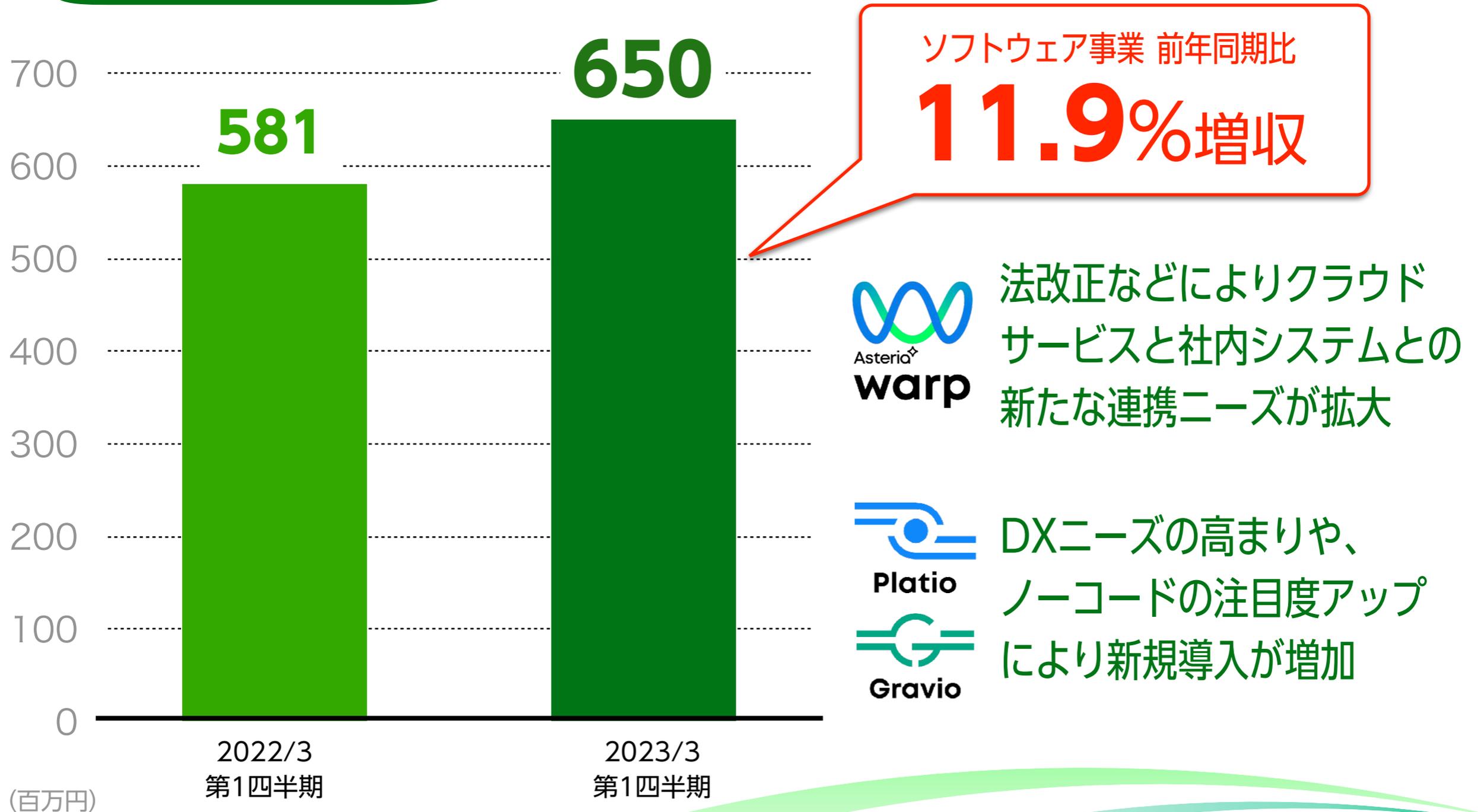
企業投資事業

- ◆ Space X社などで評価増
- ◆ 合計60百万円の評価益を計上

増収の要因①

ソフトウェア事業

増収トレンドが継続

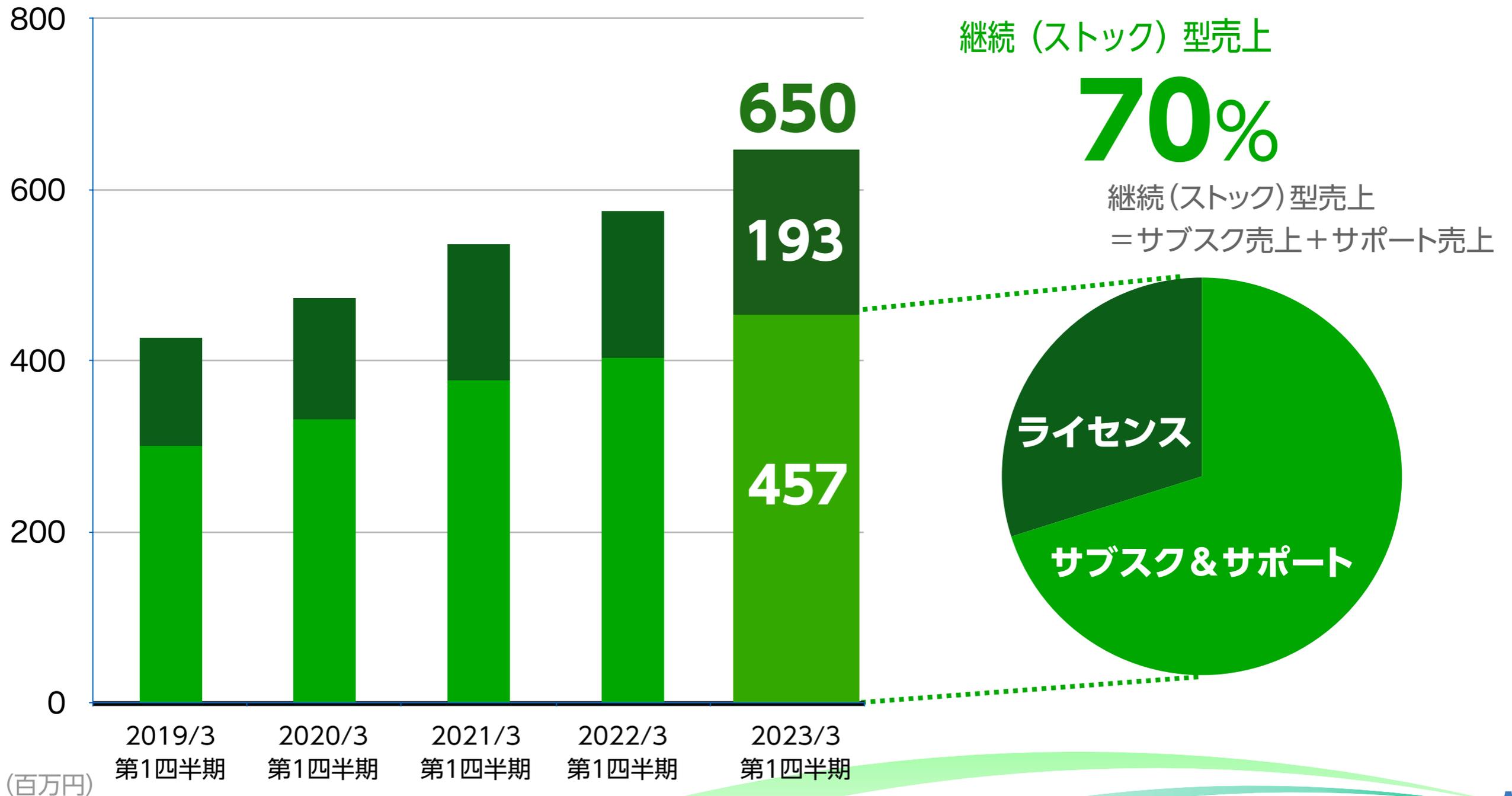


ストック型売上の推移

ソフトウェア事業

継続型売上が増加し7割以上

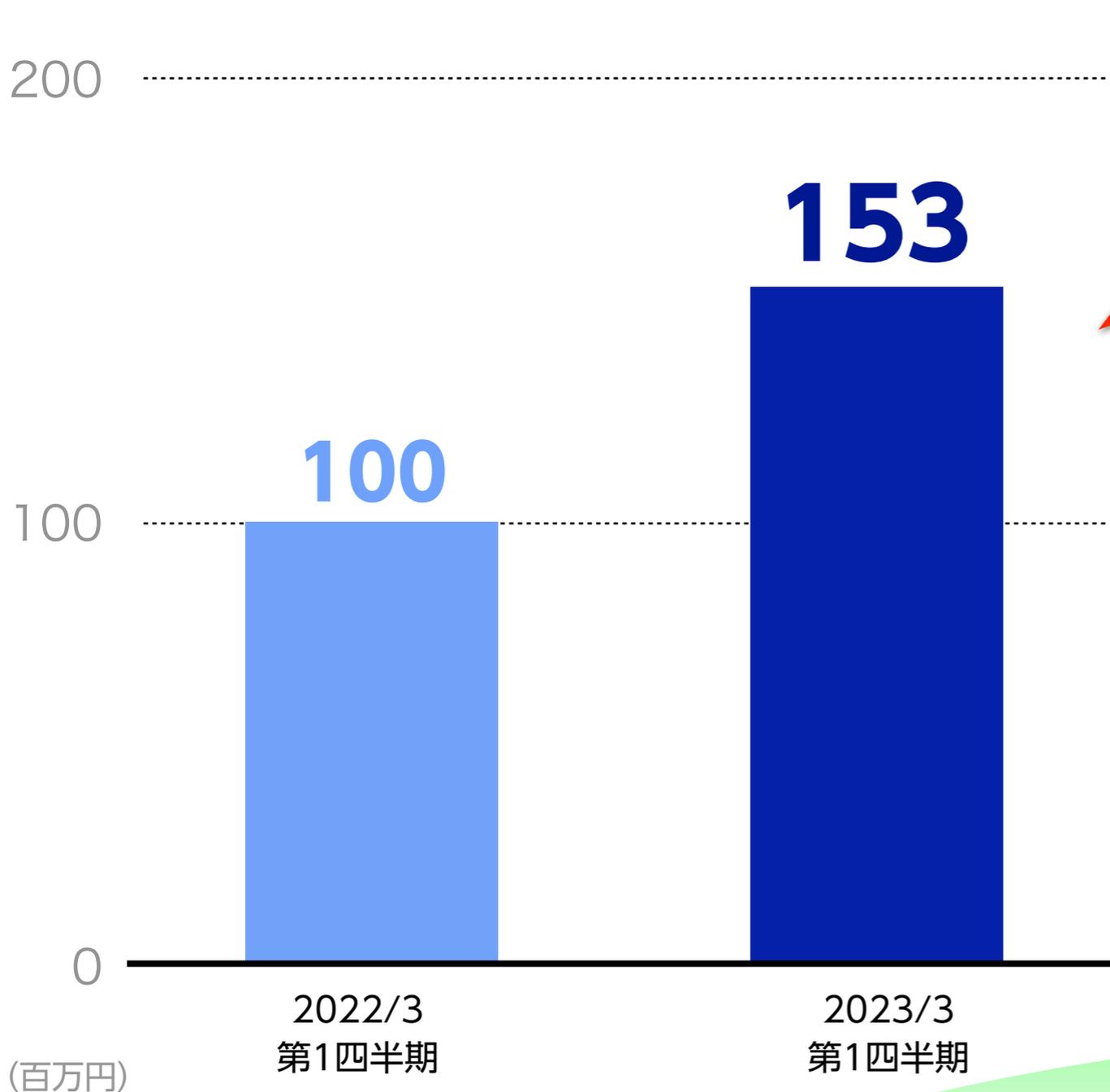
Recurring Revenue



増収の要因②

デザイン事業

既存＋新規顧客から増収

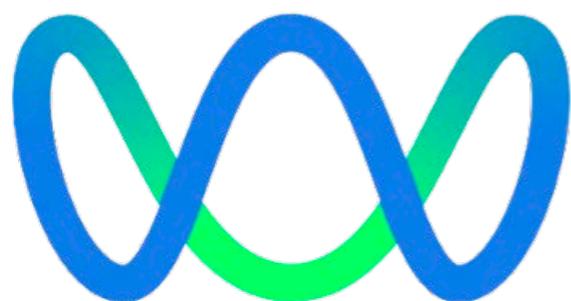


デザイン事業 前年同期比

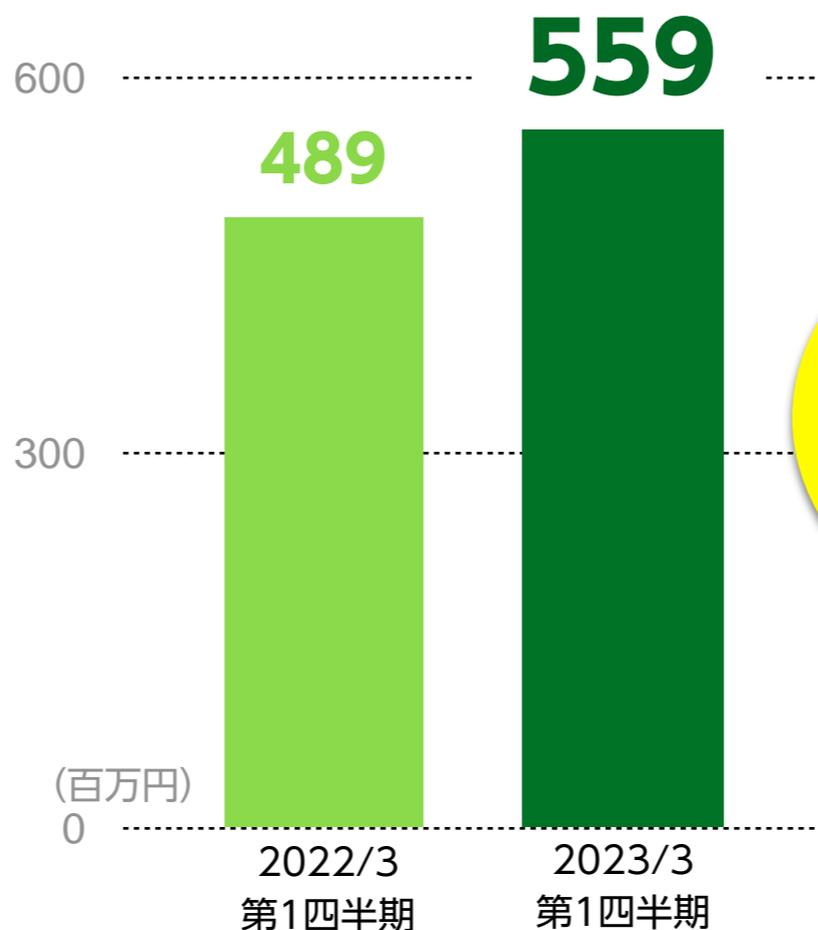
53.0%増収

- ✓ 米国IT系の新規顧客獲得を中心とした売上増
- ✓ 英国・米国の既存顧客からの追加受注

ソフトウェア事業



Asteria[◇]
warp



**Warp売上高
過去最高を記録！
(第1四半期として)**

Warp

- ✓ ライセンス売上 **約13%増**
- ✓ Core売上 **約30%増**
- ✓ サポート売上 **2.7億円を記録**

ソフトウェア事業



Platio

Platio

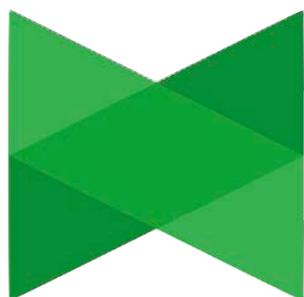
- ✓ 法改正に対応するテンプレートの拡充
- ✓ 幅広い業界から引き合い好調



Gravio

Gravio

- ✓ パートナー協業でビジネス拡大
- ✓ 多様な場所で新規導入が加速



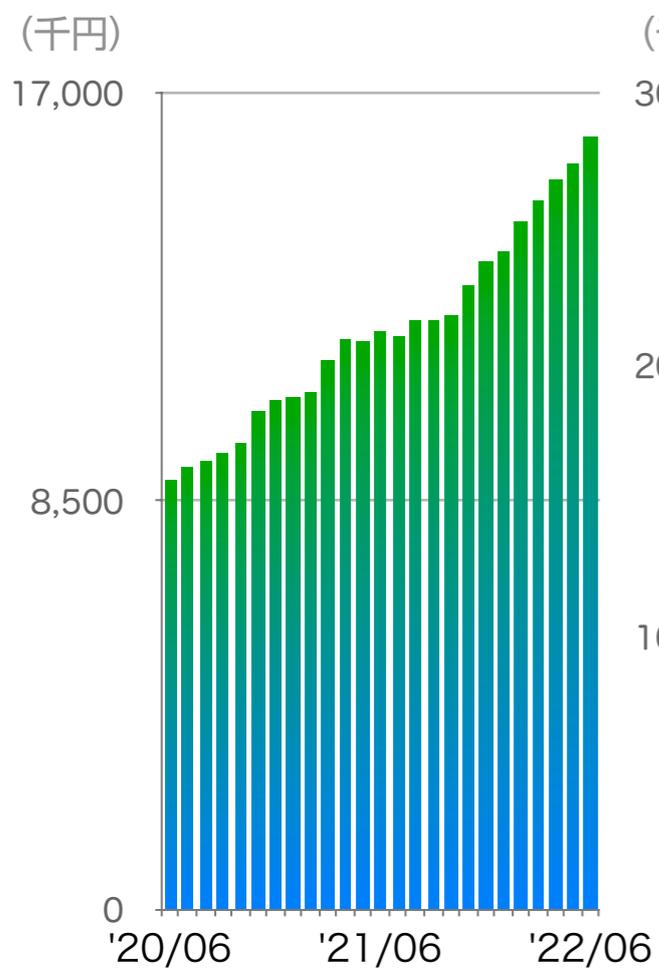
Handbook[®] X

Handbook

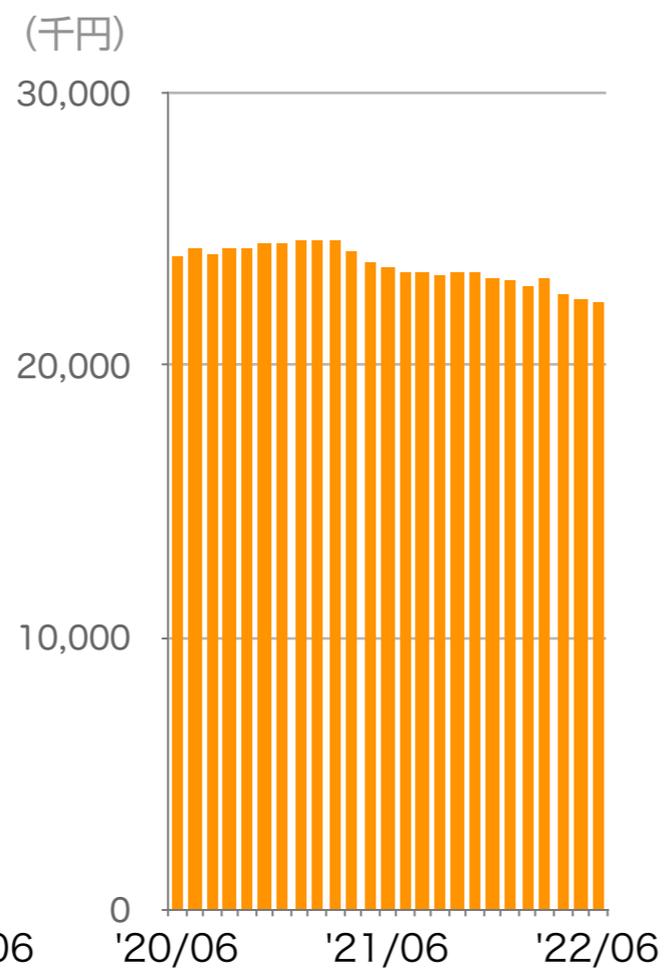
- ✓ 昨年度末に新製品を投入し販促継続

ソフトウェア事業

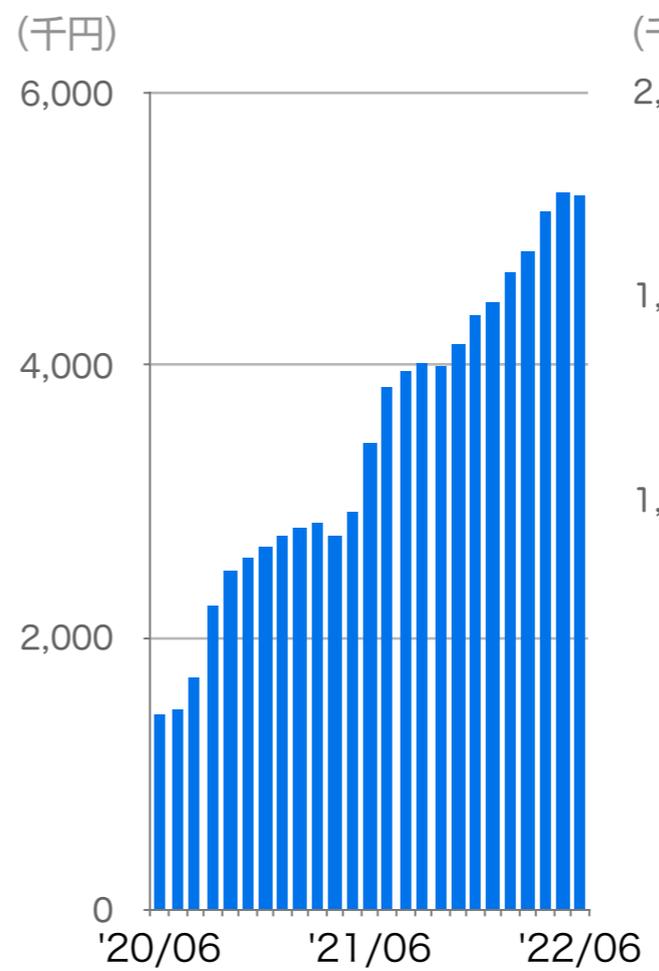
MRRの推移と解約率(R.チャーン)



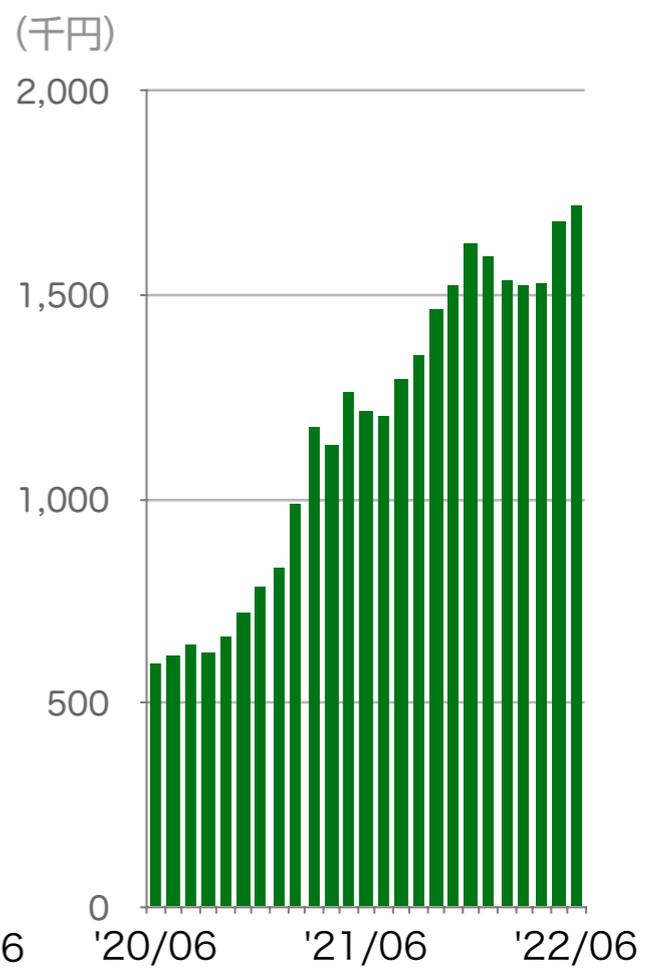
R.チャーン:1.2%



R.チャーン: 1.0%



R.チャーン:3.2%



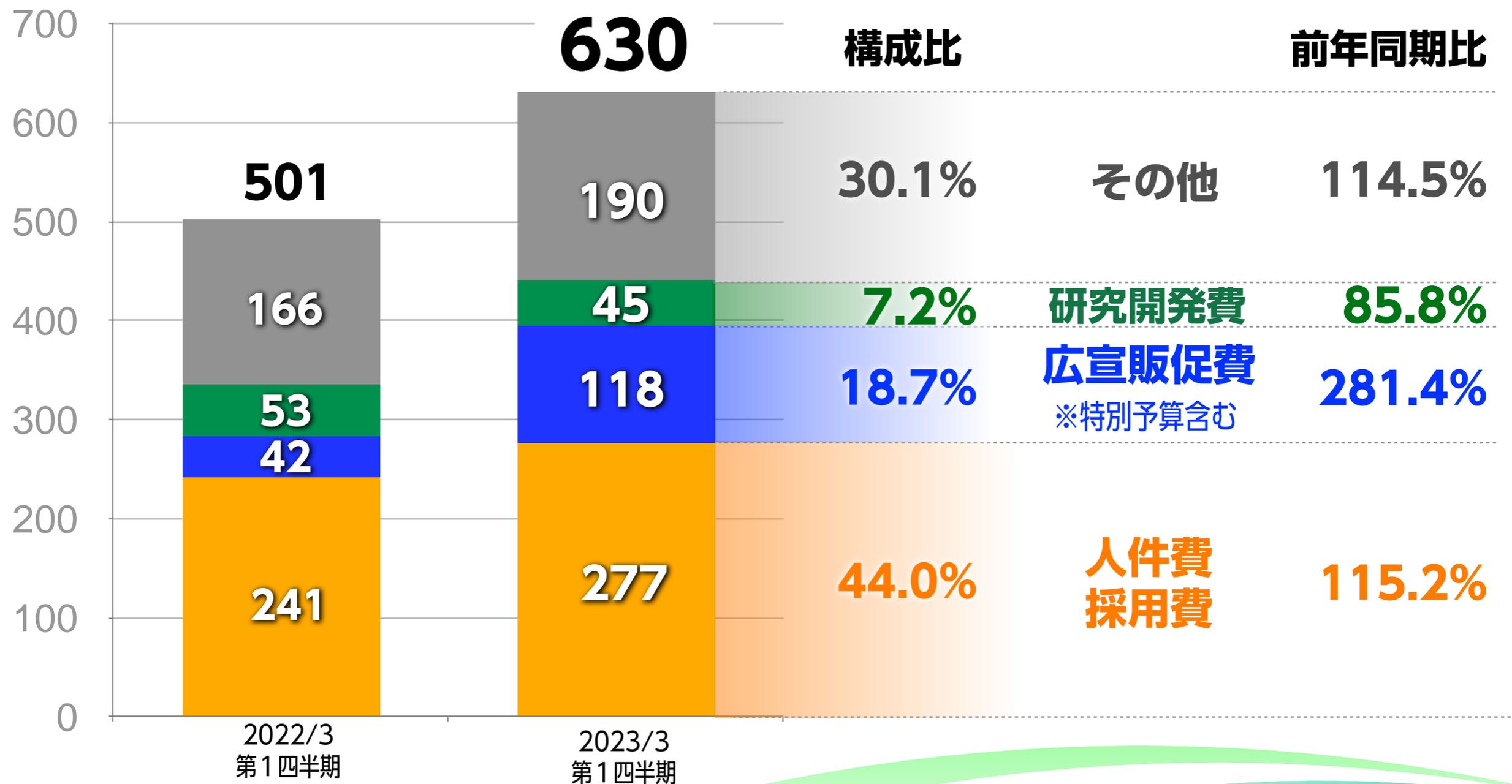
R.チャーン: 2.2%

※R.チャーン:月間売上総解約率(第1四半期平均)
 ※Handbook X のチャーンレートはHandbook、Handbook Xの合計

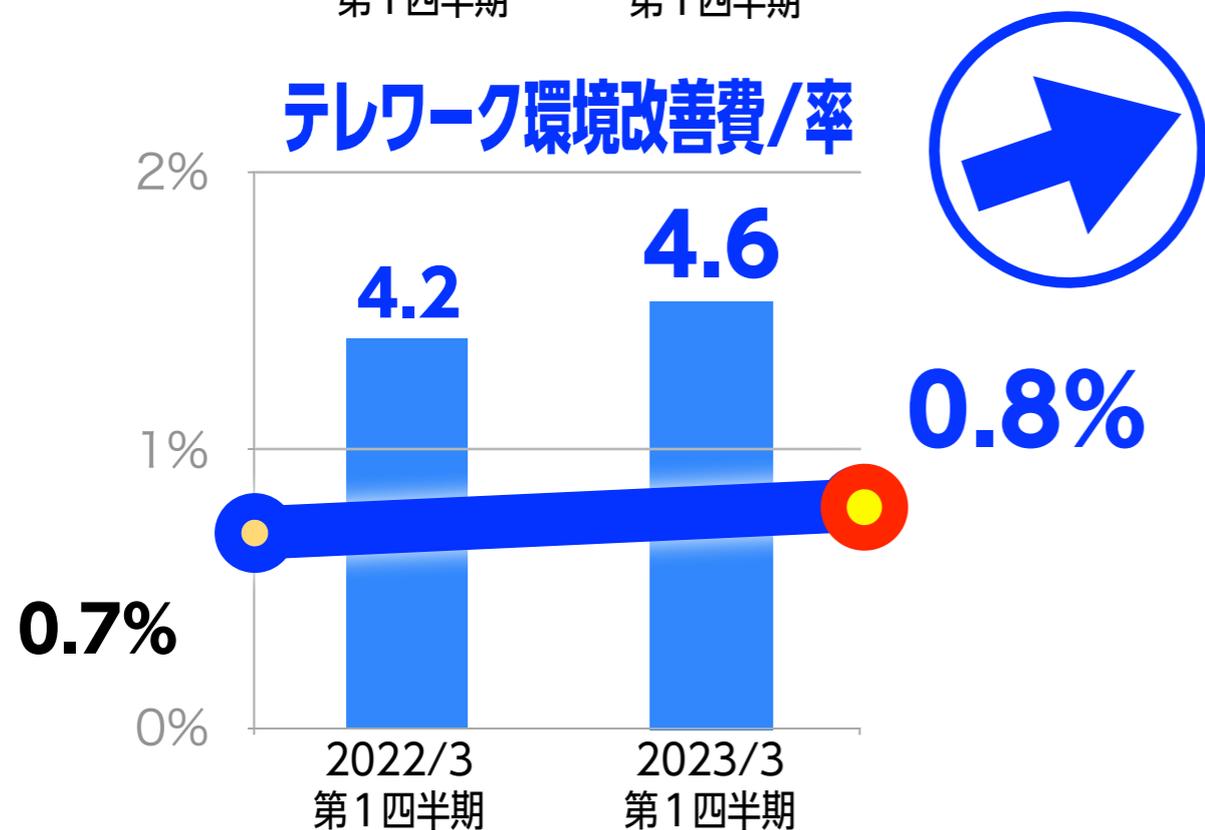
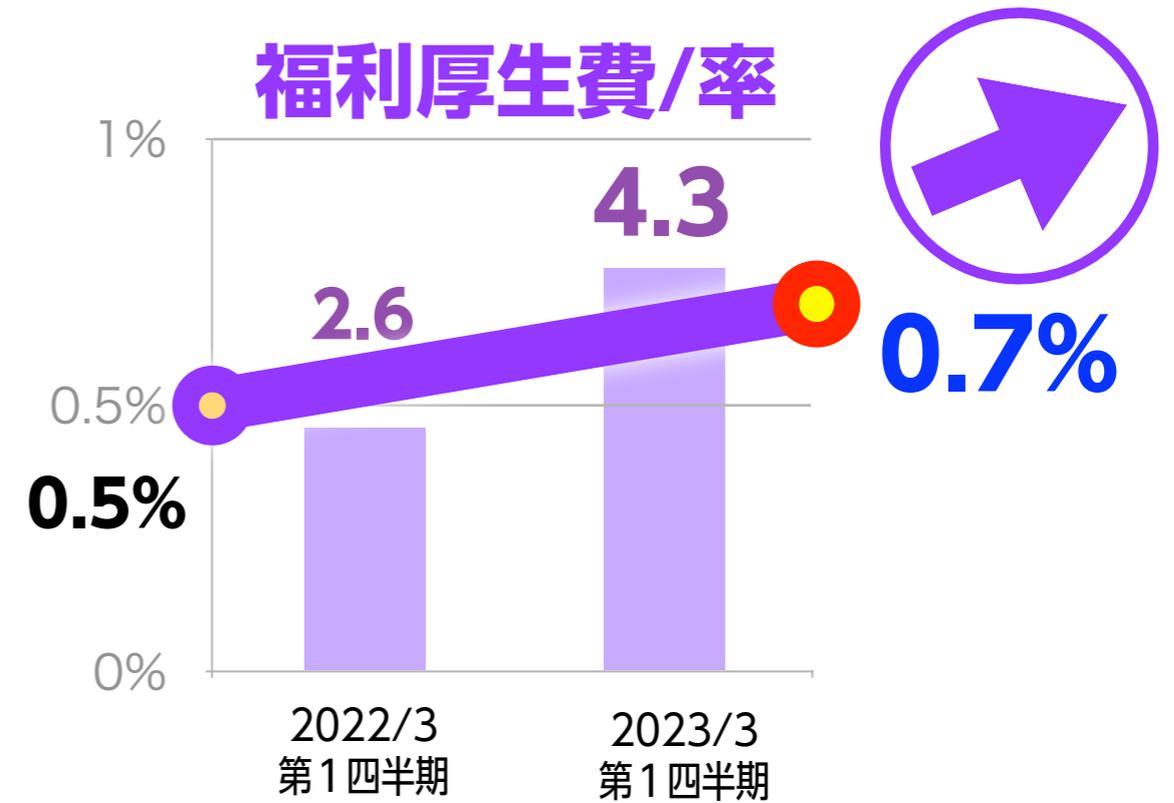
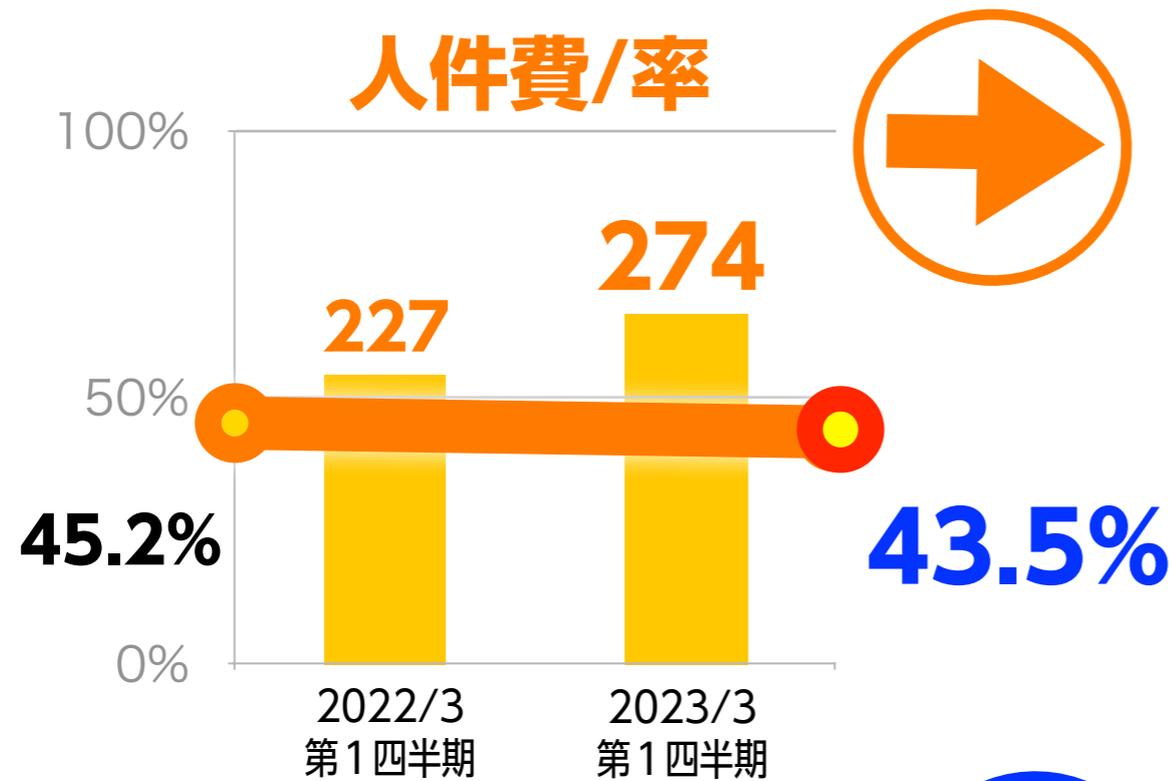
販売管理費の推移と内訳

- ✓ 「中期経営計画STAR」に基づき、「人件費+採用費」および「広宣販促費」への先行投資が計画通りに推移。

(単位：百万円)



人材への投資/構成比の推移 (前年同期比較) ※絶対値の単位は百万円

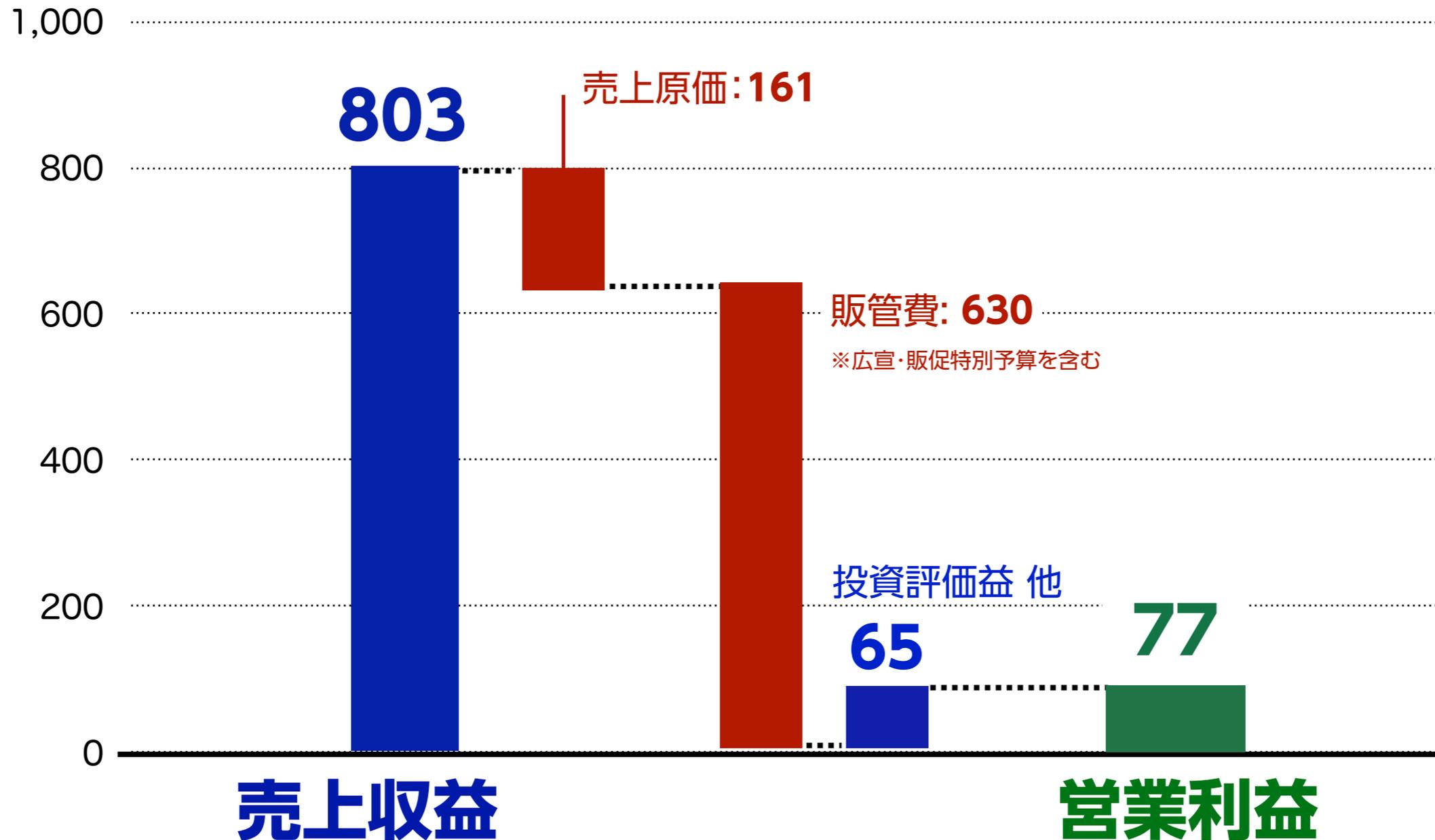


- ✓ 次なる成長に向けた採用や人材育成「人への投資」強化継続
- ✓ 福利厚生や環境対応支援の拡充でさらに働きやすさ（生産性向上）を追求

売上収益から営業利益までの内訳

✓ 「中期経営計画STAR」に基づいた先行投資により「販管費」が増加

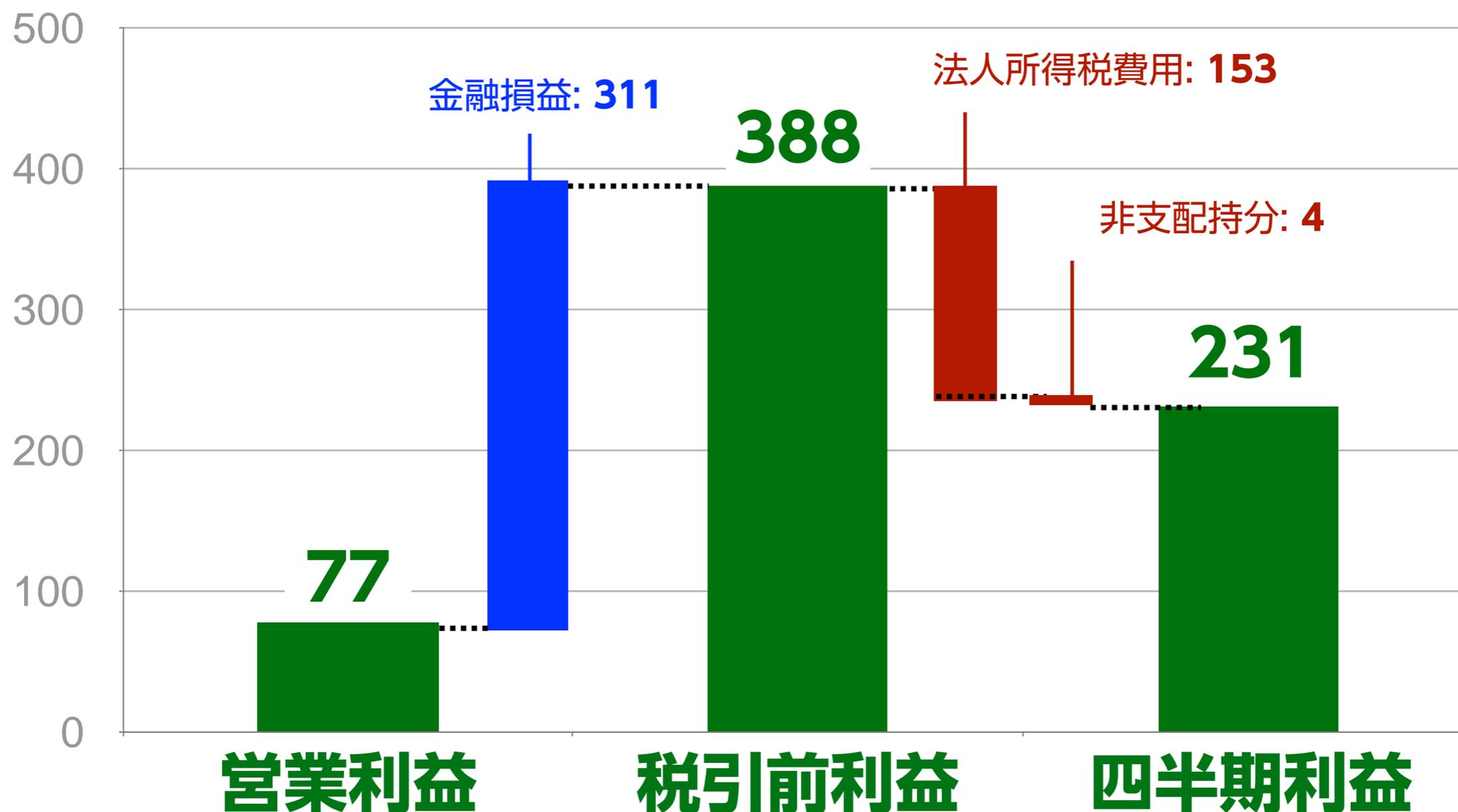
(単位：百万円)



営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)

✓ 金融損益には為替差益を含む

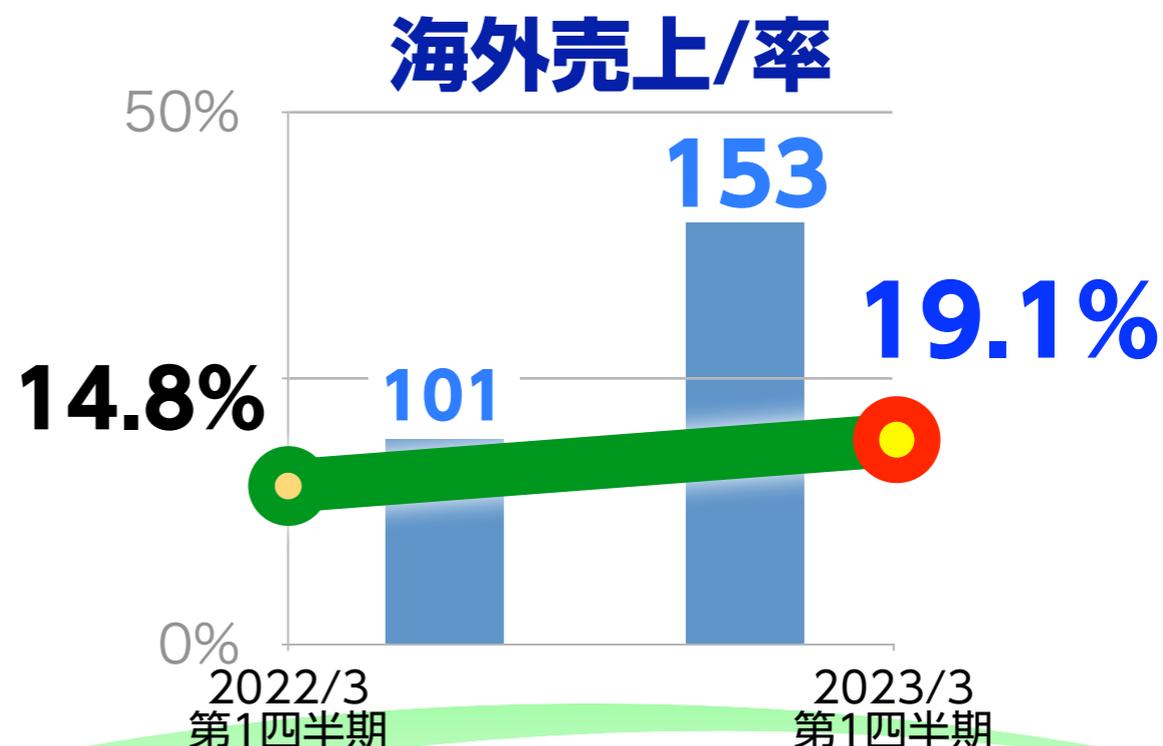
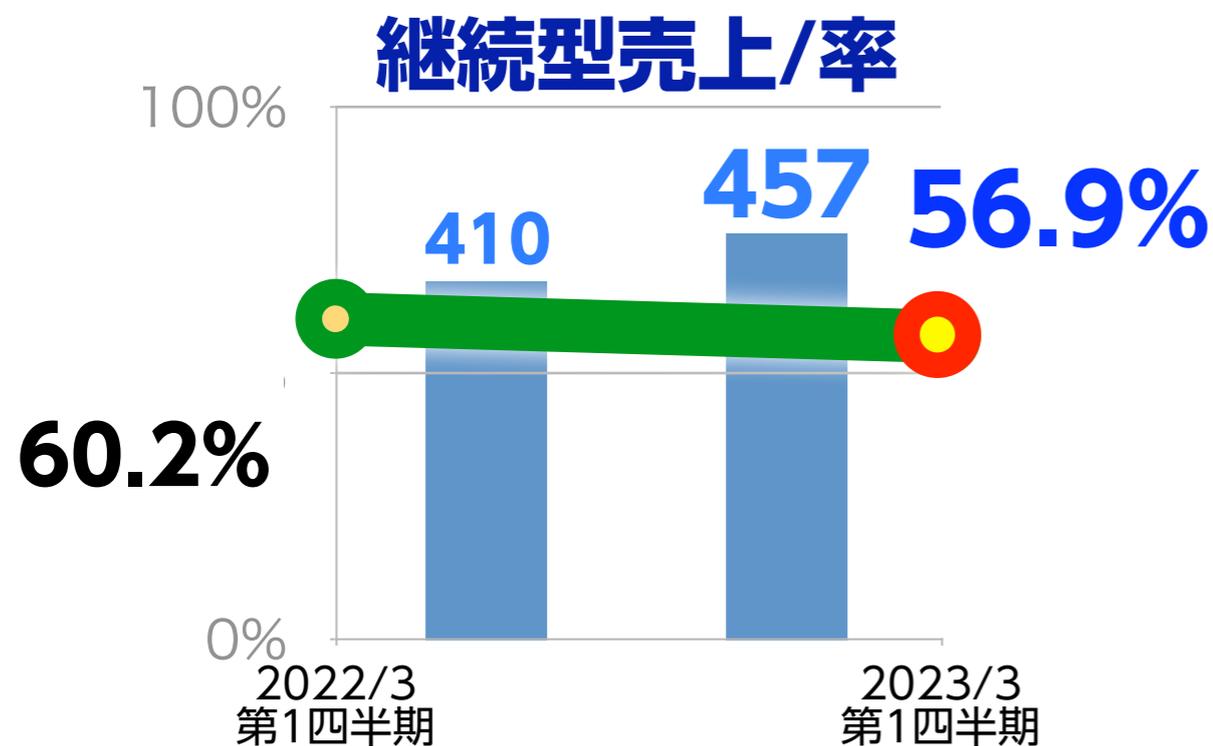
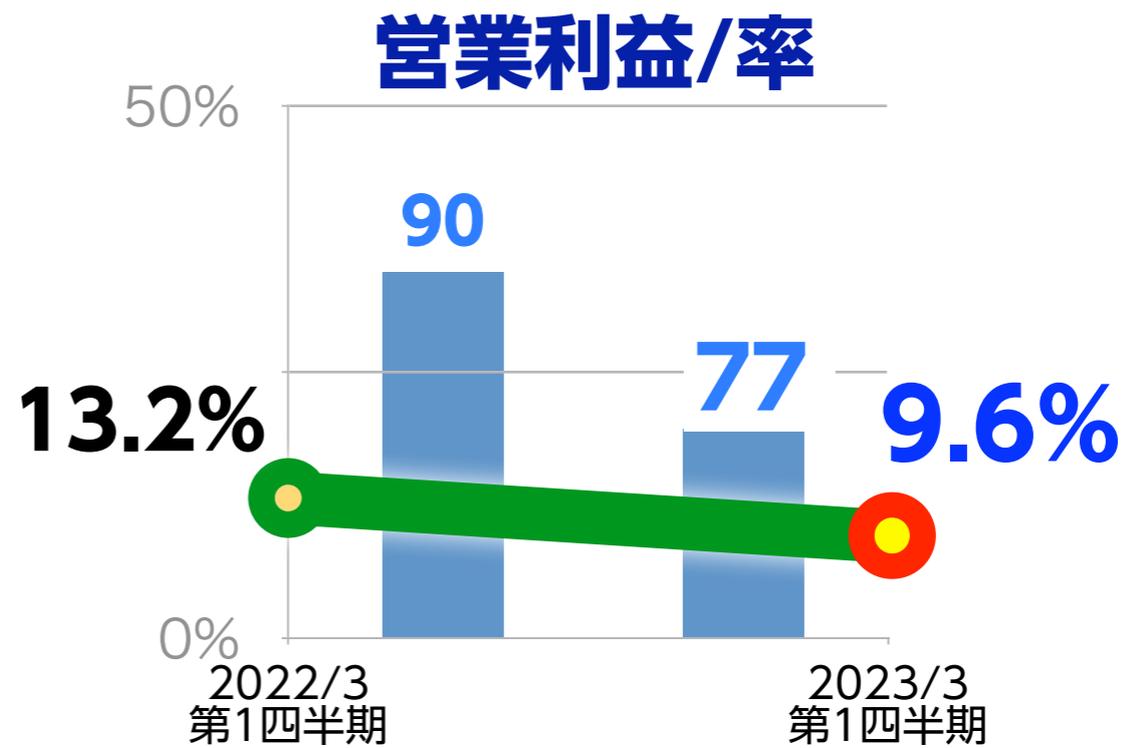
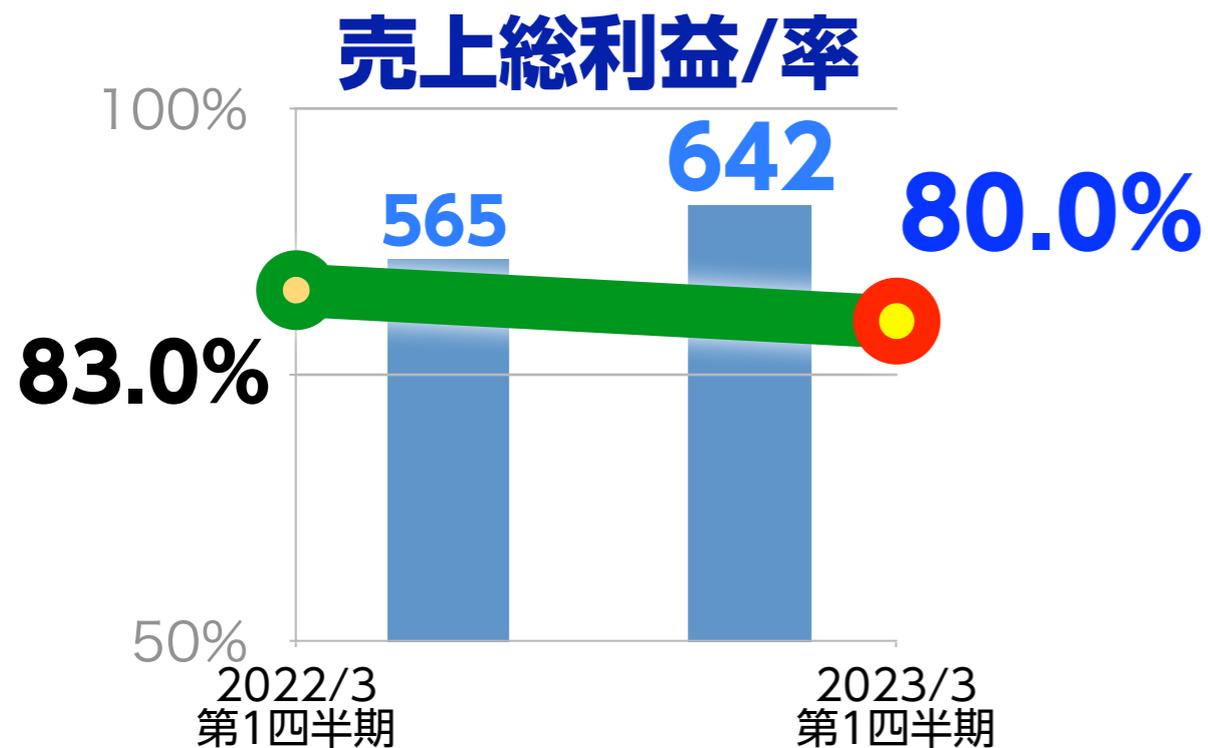
(単位：百万円)



(親会社の所有者に帰属する)

経営指標の推移 (前年同期比)

※絶対値の単位は百万円

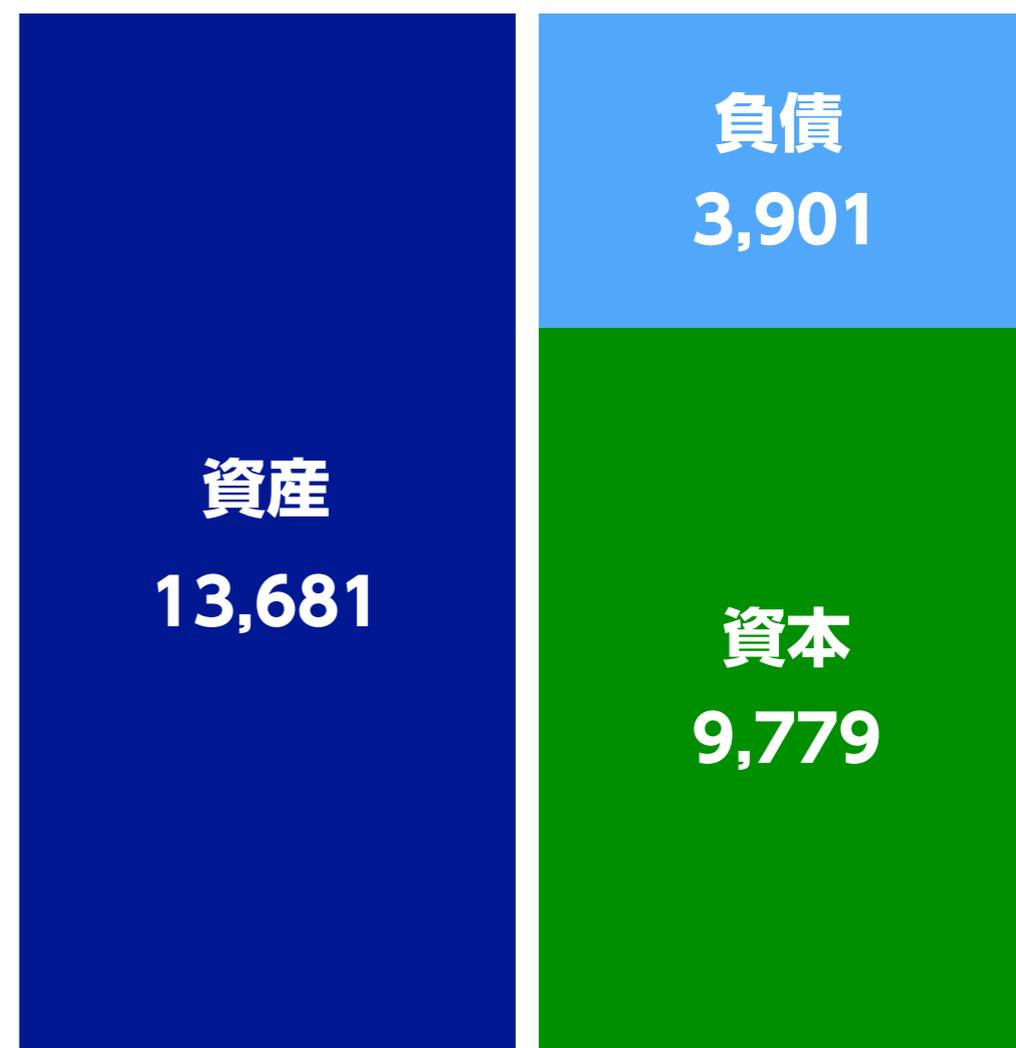


財政状態計算書

(単位：百万円)

		2022年 3月31日	2022年 6月30日	増減
資産 の 部	現預金等	1,816	1,496	▲320
	営業債権	392	330	▲62
	その他流動資産	235	265	30
	有形固定資産	503	806	303
	のれん	450	463	13
	無形資産	94	109	15
	投資等その他	9,105	10,211	1,106
	資産合計	12,595	13,681	1,086
負債 の 部	借入金	243	243	0
	営業債務	530	282	▲249
	未払法人所得税等	0	108	108
	その他流動負債	700	947	247
	長期借入金	500	465	▲36
	その他非流動負債	1,640	1,857	217
負債合計	3,613	3,901	288	
資本 の 部	株主資本	8,098	8,254	156
	その他資本の構成要素	259	824	565
	非支配持分	625	701	77
	資本合計	8,981	9,779	798

現預金等	自己資本比率
1,496百万円	71.5%



キャッシュ・フロー計算書

✓ 投資が進行するも現預金等残高約**15億円**と余裕のある財務状態

(単位:百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	51	80
投資活動による キャッシュ・フロー	▲110	▲311
財務活動による キャッシュ・フロー	▲122	▲122
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,273	1,496

業績予想の発表

✓ 利益に関してはGorilla社の株価が大きく影響するためレンジで予想
(範囲値)

(単位:百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前年同期比 増減
売上収益	2,968	3,700	24.7%
営業利益	3,445	1,400~5,100	△59.4~48.0%
税引前利益	3,984	1,400~5,100	△64.9~28.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	2,510	800~3,200	△68.1~27.5%



2023年3月期 第1四半期決算説明会

お問い合わせは:03-5718-1655



本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

LINEによるIRニュース

(証券コード：3853)